

グッドイヤー、商用芝刈り機向けエアレスタイヤ技術の 開発を推進

- Bad Boy Mowers 社 Outlaw XP モデル専用タイヤ
- 空気圧点検不要・パンクゼロ設計により、稼働時間が向上
- 重負荷を支えながら、スムーズに走行、芝の刈取り片も最小限に

ザ・グッドイヤー・タイヤ・アンド・ラバー・カンパニー（以下グッドイヤー）は、メンテナンスフリーのタイヤを望むユーザーのためのソリューションの一つとして、非空気式のエアレス・ターフタイヤを発表しました。

本タイヤは、Bad Boy Mowers 社ゼロターンラジウスモデル Outlaw XP のアップグレードオプションとして提供され、本モデルの発売は2018年初めに予定されています。

本タイヤの技術は、乗用車や商用車向けにグッドイヤーが進めるメンテナンスフリー技術の開発戦略の一環として実現したもので、特にフリートでの採用を目指しています。

グッドイヤーのチーフテクノロジーオフィサーを務める Christopher Hesel は、「車の自動化が進む中、低メンテナンス長寿命タイヤの需要は今後も拡大するでしょう。メンテナンスフリーの乗用車用タイヤを発売するにはその前に解決しなければいけない性能的・経済的な問題はまだまだありますが、当社はその実現にむけて技術の開発に日々取り組んでいます。」としています。

グッドイヤーは、NASA によるアポロ月面車用タイヤ開発に参加した1970年代から非空気式タイヤ技術の開発に取り組んでいます。近年は、将来の火星でのミッションで使用するタイヤの開発を行って参りました。

TurfCommand 非空気式タイヤ

今回 Bad Boy Mowers 社プレミアムモデルのオプション装着用として採用されたグッドイヤー TurfCommand タイヤは、DuraWeb™ Technology 技術を導入しています。グッドイヤー独自の DuraWeb™ 技術は、米国アクロンにあるグッドイヤーのイノベーションセンターでこの数年にわたって開発されたもので、Bad Boy Mowers 社向けに米国での製造が予定されています。

グッドイヤーのエンジニアそして科学者達は、エンドユーザーのニーズに応えるべく、クリーブランドメトロパークで行われた現場での調査やオハイオ州アクロンの Beltz Lawn 社、Garden Equipment 社等の芝刈り機ディーラーそして Bad Boy Mowers 社チームから得たフィードバックを製品開発に

反映させました。

本タイヤは熱可塑性連結構造を採用、重負荷に耐える剛性と柔軟性を併せ持つもので、スムーズな乗り心地を実現すると同時に芝の刈取り片も最小限に抑えられます。

グッドイヤーについて

グッドイヤーは世界屈指の大手タイヤ会社です。従業員数は約6万5000人で世界21か国、47の拠点を展開しています。米国オハイオ州アクロンとルクセンブルグのコルマーベルグの2ヶ所に技術開発センターを有し、技術・性能の両面でタイヤ業界の標準を形づける最先端の製品とサービスを開発しています。グッドイヤーと製品の詳細情報は www.goodyear.com/corporate をご覧ください。

Bad Boy Mowers 社について

Bad Boy Mowers 社(ヘッドクウォーター:アーカンソー州 Batesville)は、今年で設立 15 年を迎え、より高い価値を目指し高性能のゼロターン芝刈り機を提供することで高評価を得ています。同社芝刈り機は、Swing-Away™ 設計や E-Z Ride™ and Armor-Tek 5 Deck™などの取得特許による強みと伝説的な強靭さを備えています。そのイノベーションの進化により、いずれもメンテが容易であり、耐久性、パワーそして信頼性により長年の耐久性が実現しています。Bad Boy Mowers 社製品は、全国ネットのディーラー(www.badboymowers.com)を通じて購入が可能です。

《日本グッドイヤー株式会社》

日本グッドイヤー株式会社は 1952 年創立。国産および輸入品のグッドイヤーブランドのタイヤを、補修用タイヤ市場で販売しています。日本グッドイヤー関連会社の日本ジャイアントタイヤ株式会社は、土木建築車両用・重機用オフロードタイヤを兵庫県たつの市の工場で生産しています。又グッドイヤーは日本において航空機用タイヤのマーケティングと販売も行っています。日本グッドイヤー株式会社とその製品について、ホームページで詳しい情報がご覧頂けます。

日本グッドイヤー株式会社ホームページ www.goodyear.co.jp/



